



9月 りす組だより

2018年度9月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ペアーズ

残暑という言葉通り、まだまだ夏の厳しい暑さが残る毎日。涼しい秋の訪れが待ち遠しいこの頃です。

みんなの体調が整っている時に外で水遊びをすると桶を見たたん、両手を入れて動かし水しぶきをあげることを思い切り楽しみ、じょうろの水が顔にかかっても大丈夫な子。“なんだろう？”と座ったまま桶を眺めていた子と一緒に桶の中に手を入れると…水の冷たさを感じた表情をしたり、笑顔や声をあげたり、水遊びを楽しんでいました。

早いものでもうすぐ入園してから半年が経とうとしています。日々成長を見せている子どもたちは色々な経験をして、小さいながらも自信にあふれた笑顔が見られるようになりました。

これからは季節もよくなります。外に出てもっともっと体を動かしていっぱい遊んで、いっぱい食べて、秋を楽しみたいと思います。



ことば

絵本が大好きなりす組の子どもたち。最近のお気に入りのだるまさんシリーズの絵本を見ながら…体を揺らしたり、「手」「毛」「歯」など声に出して言いながら自分の体の部位を指さしたり、絵本を読み終わった後、「おしまい」と言って絵本を閉じたりしています。

言葉の意味も分かってきている子どもたち。

声を掛けたり、子どもの気持ちを代弁したり、笑顔で応えることにより安心するようです。

沐浴前やオムツ交換のときなど「〇〇ちゃん~しよう」の声掛けで、沐浴室のほうへ自らハイハイや歩いてやってきます。

「もぐもぐ」「あ〜ん」



絵本の中の食べものを食べる

真似も好きな遊びですが、歩ける子はカゴの中に玩具の食べものをに入れて買い物のように持ち歩くのがお気に入り。

カゴの中の食べものを「あ〜ん」と言いながら、お友だちや保育者にご馳走したり、もらったお友だちもモグモグ食べたりと、やり取りを楽しんでいます。



9月の手遊び どんぐりころころ



秋に定番のうた。ひとつのお話にもなっているので小さい子は手遊びが難しくても、大人のお手本を

見ているだけでも楽しめると思います♪

- 1 **どんぐり ころころ どんぶりこ** (両手でこぶしを作り、胸の前でぐるぐる回す)
おいけにはまって (両腕を大きく前に広げて胸の前で輪をつくる)
さあたいへん (両手を高く上に上げて手を振りながら、降ろしていく)
どじょうがでてきて こんにちは (手を前で合わせた状態で振りながら上にあげていく)
ぼっちゃん いっしょに あそびましょう (右手と左手を順に胸元で交差させ、首を左右に揺らす)
- 2 **どんぐり ころころ よろこんで** (両手でこぶしを作り、胸の前でぐるぐる回す)
しばらくいっしょに あそんだが (右手と左手を順に胸元で交差させ、首を左右に揺らす)
やっぱりおやまが こいしいと (右手で遠くのほうを指さす)
ないては どじょうをこまらせた (両手を目の下に当て、泣いた真似をする)

